

市町村アカデミーからのお知らせ

☆ 平成30年度 第6回から第7回までの研修申込みについて ☆

◆第6回分 申込み締切り：8月1日（水）

実施時期	科目名 ・ 組
10月1日(月) ～ 10月3日(水)	・【専】 地方公会計制度（応用）
10月1日(月) ～ 10月5日(金)	・【専】 長期ビジョンの策定方法と実践（ゼミナール方式）①
10月11日(木) ～ 10月12日(金)	・【特】 市町村議会議員特別セミナー②
10月15日(月) ～ 10月19日(金)	・【専】 職員のメンタルヘルスとモチベーションの向上 ・【専】 公共施設の総合管理② ・【専】 廃棄物処理と3Rの推進
10月25日(木) ～ 10月26日(金)	・【特】 市町村長特別セミナー② ・【特】 管理職特別セミナー②
10月29日(月) ～ 11月2日(金)	・【専】 住民窓口のサービス向上 ・【専】 長期ビジョンの策定方法と実践（ゼミナール方式）② ・【専】 児童虐待防止対策 ・【専】 上下水道事業の経営管理

◆第7回分 申込み締切り：9月4日（火）

実施時期	科目名 ・ 組
11月6日(火) ～ 11月16日(金)	・【専】 法令実務B（応用）② ・【専】 住民税課税事務③ ・【専】 市町村税徴収事務③
11月7日(水) ～ 11月9日(金)	・【巡】 高知県巡回アカデミー
11月19日(月) ～ 11月21日(水)	・【特】 監査委員特別講座 ・【専】 組織マネジメント *注1
11月27日(火) ～ 12月5日(水)	・【専】 災害に強い地域づくりと危機管理①
11月27日(火) ～ 12月7日(金)	・【専】 研修講師養成講座（地方自治制度） ・【専】 広報・広聴の効果的実践② ・【専】 魅力ある地域づくりの実践

*注1 管理職対象

※【特】：特別課程、【専】：専門実務課程、【巡】：巡回アカデミー

※各科目の詳細（課目・講師等）については、市町村アカデミーのホームページをご覧ください。

〈申込先〉 市町村アカデミー研修部 ホームページ <http://www.jamp.gr.jp>

電話 043-276-3126 FAX 043-276-8484

市町村長特別セミナー ～自治体経営の課題～・地域経営塾 (4月19日～20日)

4月19日、20日の2日間にわたり、平成30年度第1回の「市町村長特別セミナー～自治体経営の課題～・地域経営塾」(共催：総務省、一般財団法人地域創造)及び「管理職特別セミナー～自治体経営の課題～」を開催したところ、全国各地から69人の市町村長・副市町村長及び管理職の皆様にご参加いただきました。

今回のセミナーでは、観光、文化振興、地域力創造及び危機管理をテーマに取り上げ、それぞれの分野の第一線においてご活躍されている講師の皆様にご講演いただきました。

初日は、「観光地域づくりと観光先進国の実現」と題して、観光庁長官の田村明比古氏から、観光が我が国の成長戦略の柱となっていること、近年訪日外国人旅行者数(インバウンド)が増加して昨年の訪日外国人旅行消費額が過去最高となっていること等我が国の観光の現状についてご説明いただいた上で、「観光資源の魅力を極め、地方創生の礎に」、「観光産業を革新し、国際競争力を高め、我が国の基幹産業に」及び「全ての旅行者がストレスなく快適に観光を満喫できる環境に」という3つの視点から、全国の様々な事例をご紹介いただくとともに、地方が持続可能な観光地づくりにどのように取り組むべきかについて力強くお話をしていただきました。



田村 明比古氏

次に、一般財団法人地域創造常務理事の石川善朗氏から、「地域の文化振興」と題して、文化とは何か、文化拠点の整備等、公共ホール等に係る人材の育成、文化が行政に果たす様々な役割等について、お話をしていただきました。



石川 善朗氏

また、初日の締めくくりとして、一般財団法人地域創造公共ホール音楽活性化事業登録アーティストでチェロ奏者の加藤文枝氏とピアニストの小澤佳永氏によるミニコンサートを開催しました。曲の内容の紹介や作曲の背景についての興味深いトークを挟みながらのとてもすばらしい演奏にて、コンサート会場にいる者は、皆魅了されました。



ミニコンサートの様子

2日目は、総務省地域力創造審議官の池田憲治氏から、「地域力の創造と地域づくり」と題して、地方行政を取り巻く状況と地域力創造関連施策の動向についてご説明いただきました。



池田 憲治氏

最後に、「危機管理の基本」と題して、東京大学生産技術研究所客員教授、元内閣危機管理監の伊藤哲朗先生から、危機管理に関する同氏の豊富な経験を交えながら、危機管理には危機の事前対策(リスクマネジメント)と危機発生時の緊急事態対処(クライシスマネジメント)の2つがあること、緊急事態発生時における指揮官の心構え、緊急時における通常の価値観の変化等について、大変興味深いお話をしていただきました。



伊藤 哲朗先生

特に、「決断には責任を伴うが、後の批判を恐れて決断をためらったり遅らせてはならない」、「何が最善かはその時点では不明なことが多いが、その時点で最善と思うことを勇気を持って決断していく」等の行政組織の幹部向けの訓示は非常に印象深いものでした。

参加された方々からは、「時宜を得たテーマの講演であり大変参考になった」、「セミナーにまた参加したい」といったような感想が寄せられました。

市町村議会議員特別セミナー ～多様化する地域課題～ (5月9日～10日)

平成30年度「市町村議会議員特別セミナー～多様化する地域課題～」を5月9日、10日の2日間の日程で開催したところ、全国各地の市町村議会議員124名の方々にご参加いただきました。

初日は、「深刻な所有者不明土地問題」と題して、元総務大臣、(株)野村総合研究所顧問、東京大学公共政策大学院客員教授の増田寛也先生に、所有者不明土地問題の深刻な背景、経済的損失、所有者不明土地等に係る諸課題や対策、新制度の方向性などについてご講演をいただきました。参加者からは、「所有者不明土地の法的な対応や有効利用について、あらゆる角度からの対策が検討されていることがわかった」、「最近話題のテーマなので、関心を持って聞いていた。重要な問題だと感じ、議員として何ができるか、何をすべきか考えていく必要性を感じた」などの感想をいただきました。



増田 寛也先生



牧 慎太郎副学長

次に、「人口減少社会における地域づくりの展望」と題して、総務省地域力創造アドバイザーで当アカデミーの牧慎太郎副学長に、地球規模の人口増加で食料やエネルギーの不足が懸念される中で、AIやロボット技術の進化等も踏まえ、少子高齢化や働き手の減少にどのように対応して地域づくりを進めていくべきかについてご講演をいただきました。参加者からは、「健康寿命をどうのばすのか、その間の生き方をどう社会化するか、社会的活躍の場をつくるかなど、地域力を高める視点から考えたいと思った」、「時代の流れや背景をもとに、数値データを示しながら、地域の課題や今後の展望等を分かり易く講演いただき、非常に参考になった」、「長いスパン(10年→50年→100年後)で、地域を見ていくことの大切さがわかった」などの感想をいただきました。

2日目は、「地方財政の課題」と題して、関西学院大学大学院経済学研究科教授の小西砂千夫先生に、地球温暖化防止のための環境と災害時の流木対策等に関係した森林環境税の導入、地方公共団体の財政健全化と公会計、地方公共団体の基金に対する説明責任の果たし方などについてご講演をいただきました。参加者からは、「基金の健全な使途や今後の地方公会計・整備促進の必要性や導入のメリット等について、解りやすい説明でした」、「森林税のお話から、財調のお話まで、ユーモアもあり、なおかつわかりやすく、地方議員としてどうあるべきかの提言もあり、素晴らしい内容でした」、「新税に関する地方財政の根本のお話は全く同感です。財調と公会計の共通する考え方、公共施設の総合管理計画に繋がるという話は非常に参考になった」などの感想をいただきました。



小西 砂千夫先生



榊原 智子氏

最後に、「人口減少時代に求められる子育て政策」と題して、読売新聞東京本社調査研究本部主任研究員の榊原智子氏に、ご自身の出産・子育ての経験から、社会保障や子育て政策を研究されて感じた問題点、行政と保護者の認識の違い、日本と諸外国の妊娠から出産後の子育て政策の比較、これから求められる子育て政策についてご講演をいただきました。

参加者からは、「現在の子育て環境(親や保育行政、私たちの意識)が分かってよかった。大いに真剣に考えなければならなかった」、「なぜ遅れる子育て支援、保育問題は、根本に子育て・出産・女性の仕事という古い考え方がその底にある。男女平等雇用の機会均等の現代社会の中に行政や市町村議会で直ぐにでも取り組み、解消していかないと、少子化問題の解決に繋がらないことが理解できる」などの感想をいただきました。

監査委員特別セミナー

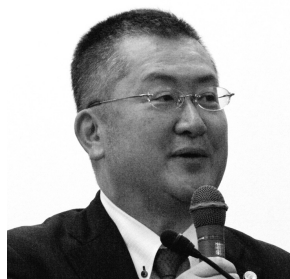
(5月14日～15日)

平成30年度「監査委員特別セミナー」を、5月14日、15日の2日間の日程で開催しました。今回は、全国各地から139名の監査委員の皆様にご参加いただきました。

初日は、「監査制度の課題と今後の動向」と題して、青山学院大学大学院会計プロフェッション研究科教授の町田祥弘先生から、地方公共団体の監査制度、監査に関する制度改正の主な沿革、監査委員による監査の種類と目的、監査指針や内部統制ガイドラインに関する今後のスケジュールなどについてご講演をいただきました。参加者からは、「監査制度の大きな動向について知る貴重な講演だった。」、「簡潔で分かりやすく、監査委員としての視点を知ることができた。」、「監査基準策定までのイメージ、スケジュール感が見えてきた。」などの感想をいただきました。



町田 祥弘先生



小林 裕彦氏

次に、弁護士の小林裕彦氏から、「住民監査請求の制度と課題」と題して、住民監査請求の意義、住民訴訟の近年の状況、住民監査請求の実例などをご講演いただきました。参加者からは、「判例等をもとにした講演は、実践的であり分かり易かった。」、「住民監査請求の難しさが良く分かった。」、「実務に直結した内容であり、とても分かり易かった。」などの感想をいただきました。

2日目は、まず、関西学院大学大学院経営戦略研究科ビジネススクール教授の石原俊彦先生から、「自治体経営と監査委員監査～資金管理の内部統制を切り口に～」と題して、内部統制とガバナンスの効果、民間企業の内部統制制度、自治体監査制度の課題などについてご講演いただきました。参加者からは、「監査委員が何をすべきか頭の中を整理できた。」、「ポイントが明確で良かった。」、「監査委員が行う領域の多さや大きさを再認識した。」などの感想をいただきました。



石原 俊彦先生



黒澤 正明氏

最後に、会計検査院事務総長官房上席企画調査官付検査情報分析官の黒澤正明氏から、「会計検査の勘どころ」と題して、会計検査の最近の動向や、監査委員の監査と会計検査院の検査の共通点や異なる点、会計検査の勘どころなどについてご講演いただきました。参加者からは、「接することが少ない領域のお話で、興味深く聞くことができた。」、「ケース紹介が参考になった。」、「今後の問題点が分かった」などの感想をいただきました。